



姉水

発行所
滋賀県長浜市宮部町 2410
滋賀県立虎姫高等学校内

姉水会

〒529-0112
TEL 0749-73-3055(代)

印刷 株式会社サラト

世界に飛び立て 虎高生

姉水会会長 大塚 敬一郎



2020年初頭から始まり4年近くにわたって世界中を震撼させたコロナもやっと終息したかに思われます。

海外にも自由に渡航できるようになり、最近、ベトナム、中国、台湾と続けて行ってきました。そこで感じたことは日本がDXにおいて世界から取り残されているのではないかという不安です。ベトナムでは、コロナで時間が止まっていた日本とは違い、この3年間にDXの面でかなり進歩していました。高速道路料金所のシステムの簡便化、レストランのメニューから注文・支払いまでがすべてQRコードで済むこと、グラフ（配車アプリ）の利便性が以前の倍以上になっていること等々、日本がかなり遅れていることを実感しました。コロナ明けの円が非常に安くなってきたのも単に金利差だけでなく、DXの遅れが日本の生産性を悪くし、そのことを市場が判断しているとも考えられます。

ところで、虎高は国際バカロレア（以下IB: International Baccalaureate）の公立高校では関西唯一の認定校になりました。IBは、当初、国際機関や外交官の子供たちが親の異動に伴い複数の国を転々とする中で一定の教

育を受けさせることを目的に1968年に始まりました。日本のカリキュラムとはかなり違うため生徒たちは苦勞していました。昨年1期生、今年2期生と合わせ16名が無事飛び立ち大学に進学しました（1名はカナダへ留学）。

そんなIBの授業を先日体験してきました。生徒2名とPTAや姉水会会員などの4名の6名ほどがグループになって議論するもので、生徒の一人がファシリテーターになり、提示されたテーマに関して30分間ほどメンバーで論じ合います。

当日のテーマは、能登半島地震の当日夜半、ある避難所に数人の男女が車で乗り付け、その自動販売機をハンマーで壊して中の物を持ち去ったという新聞記事についてでした。各グループで様々な意見が飛び交った後、最後にグループ毎に感想や意見を発表しました。グループ発表の後には、同じ新聞社が数日後に出した「自販機を壊したのは飲み水さえままたまらず自販機から買うお金さえ持ち出せなかったのやむを得ず壊し、避難している皆に分けた」という訂正記事が示されました。

偏差値だけを追った今の日本の受験勉強とは正反対の右記のような授業を実際体験して、生徒各々が物事を深く考察することや、情報の方を多角的に体験することの大切さを理屈抜きに感じました。姉水会の皆様もぜひ一度IBの授業を参観においでください。

100周年記念事業として、これからは物より事だと姉水会奨学財団を立ち上げました。グローバルに展開するための一助との思いのもと、IBの生徒たちの短期留学の資金として活用しています。これからも皆様の一層のご協力をよろしくお願いします。

ご挨拶

校長 兼房 一浩



姉水会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より母校虎姫高校のために格別のご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルスが5類感染症に位置づけられ一年が経過しました。学校も元の活気を取り戻し、学園祭などの生徒会活動はもとより、フィールドワークや海外研修の実施、様々なコンテストや学会発表への挑戦など、学業の面でもこれまで以上に多彩な学習活動が展開できるようになりました。昨年度は新たな行事として、二年生による課題研究発表会「学問祭」を開催したところです。部活動も、新聞部や囲碁・将棋部の全国大会出場や運動部の近畿大会での活躍をはじめ、有志生徒によるソフトボール同好会やアメリカンフットボールの地域クラブの立ち上げなど、意欲的な取組が進んでいます。

さて、懸案となっていたスーパーサイエンスハイスクール事業については、本校が今年度から新たに第三期指定校として採択されましたことをご報告申し上げます。平成二十四年度以来十二年間にわたり、地域や同窓の皆様方のご協力のもと、次代を担う科学技術人材の育成に取り組みしてきました成果を評価いただけたものと感謝申し上げます。今後は五年間にわたり、地域の市町や大学のご支援もいただきながら、さらなる高みを目指して文理を融合した教育活動を進めて参ります。また、西日本の公立高校の先陣を切つてスタートした国際バカロレアは、導入に向けた調査研究に着手して十年、認定校となつて五年が経過しました。昨年度はこの節目にあたり、本校のこれま

での取組状況について国際バカロレア機構から良好な評価をいただくことができました。一期生に続き第二期生も本校を卒業し、本校としては久しぶりの海外進学も出てきたところです。県内外における認知度も高まり、本校でしか得られない学びを求めて入学してくる中学生が増えてきたと手応えを感じております。

こうした本校の教育活動や在校生の諸活動に対しまして、皆様方から多大なご支援をいただいておりますことにあらためて感謝申し上げます。とりわけ、創立百周年を機に設立されました「公益財団法人姉水会奨学財団」による奨学金については、昨年度までの二年間に延べ三十二名の在校生に奨学金を給付していただいたところです。グローバル人材の育成が求められる昨今、本校でも海外修学旅行を復活させたほか、オーストラリアへの短期海外研修をスタートさせ、また海外への留学を目指す生徒も増えてきたところですが、近年の円安と物価高により諸費用が高騰し、コロナ前と比べてたいへん厳しい教育環境にあります。未来へつなげる「人財」の育成に、今後とも引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

創立から一〇五年、伝統ある「質実剛健」の校風のもと、「独立自尊」「万円自在」の精神を受け継ぎ、我が国の発展と国際社会の繁栄に貢献できる人づくりを目標に、時代の変化に即した新しい教育に挑戦し、生徒一人ひとりが高い志を持って夢に挑戦できる魅力ある学校づくりに努めてまいりたいと考えております。今後とも益々のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、同窓の皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

令和6年度「姉水会」総会のご案内

お帰りなさい虎高へ

期 日 令和6年9月14日(土)

日 程 (理事会 10:30～11:20)

総 会 11:20～12:40

講師：小倉孝保氏(高35回卒) 毎日新聞論説委員

懇親会 12:40～

場 所 北ビワコホテルグラツィエ 滋賀県長浜市港町4-17 TEL 0749-62-7777

懇親会 場所：総会会場(北ビワコホテルグラツィエ) 会費：10,000円

令和6年度「姉水会」総会・懇親会
参加申込フォーム※ご参加いただける方は、**8月28日(水)**までに下記の姉水会事務局へご連絡ください。

総会あるいは懇親会のための参加でも結構です。右のQRコードからの申し込みも可能です。

姉水会事務局 TEL 0749-73-3055(虎姫高校) FAX 0749-73-2967(虎姫高校)

メールアドレス torahime-h.sisui@pref-shiga.ed.jp

※FAX・メールの場合は確認用連絡先を明記してください。



小倉 孝保 氏(高35回卒)

1988年、毎日新聞社入社。カイロ支局長、ニューヨーク支局長、欧州総局長、外信部長を経て論説委員。ノンフィクション作家として数々の賞を受賞。最新刊の『35年目のラブレター』(講談社)は、2025年3月7日 全国劇場公開されます。(出演：笑福亭鶴瓶、原田知世 他 監督・脚本：塚本連平)

「35年目のラブレター」
公式サイト

令和5年度「姉水会総会」報告

令和5年度姉水会総会は、昨年10月29日（日）13時より「ホテル&リゾート長浜」（旧長浜ロイヤルホテル）にて開催されました。

総会は、お亡くなりになった諸先輩方への黙祷から始まり、大塚敬一郎姉水会会長（高17）、兼房一浩虎姫高校校長（高35）にご挨拶いただきました。そして、副会長のご紹介の後、議事に入るにあたり、議長に沢田昌宏姉水会副会長（高28）を選出していただきました。沢田議長の議事進行で、まず協議事項一～三号議案として「令和4・5年度事業報告」と「令和4年度決算報告・監査報告」「百周年記念事業会計決算報告」が満場の拍手で承認されました。また、姉水会館解体に伴う「姉水会会則の運用に関する規定」の改定を承認いただきました。

議事に続いて、森垣武彦様（併中1）からタオルの贈呈が披露され、ご挨拶をいただきました。その後、3名の10年勤続者に感謝状を授与される予定だったのですが、今年は都合がつかず披露のみとなりました。

以上の協議事項とその他・連絡事項を含め、総会は無事終了し、三和伸彦県庁姉水会会長の乾杯の挨拶を皮切りに懇親会が始まり会は盛り上がりしました。



令和6年度 姉水会役員（敬称略）

役 職	氏 名	卒回
会 長	大塚敬一郎	高17
副 会 長	橋本 圭祐	高17
	関谷 松男	高20
	沢田 昌宏	高28
	中西 恭子	高30
	宮島 正典	高37
顧 問 (長浜姉水会会長) (東京姉水会会長) (県庁姉水会会長) (大阪姉水会会長) (虎姫高校校長)	木下 善正	高14
	野田 藤雄	高16
	高田 毅士	高25
	伊吹 信人	高36
	根尾 昇	高28
監 事	兼房 一浩	高35
	本城 善男	高18
理 事	鈴木富美代	高28
	瀬邊 勲	高2
	村田 洋	高14
	大橋香代子	高18
	速水 敏行	高18
	清水 実	高20
	中川 勇	高22
	北田 康隆	高23
	坂井 久泰	高26

令和6年度 姉水会校内役員

役 職	氏 名	卒回
教 頭	富岡 正臣	高45
事 務 長	足田 壽宏	
総 務	○菅原 信章	高38
	○塚田 豊	高38
	○細井 剛	高36
	○前田 健	高44
	梅本 美保	高37
(会 計)	上杉 真代	高62
	高橋 英樹	高56
	徳原 真也	高63
	五十嵐 聡	高64
会 員 名 簿	○宮部 睦美	高49
	松村 大介	高59
	山根 孝子	高46
会 報	○岩崎 俊裕	高34
	○南部 康弘	高37
	笹原 敏幸	高33
	川瀬 千津	高43
	吉田 晴洋	高36
(記 念 誌)	杉本 智子	高46
(記 念 誌)	川村 洋輔	高58

日東第一だより

喜寿を迎えての2024年同窓会 虎姫高等学校第18回卒業生

例年がない暑さの中、コロナ禍でいろんなことがストップして、丸3年が過ぎ、3年毎に行われている同窓会を6年ぶりに、令和6年7月6日(土)、長浜市の「グランパレー京岩」において開催いたしました。

当日は、昭和41年卒業生311名中51名が集まり、恩師の松島正隆先生、中村正勝先生を囲んで、思い出ばなしに花を咲かせながら、久しぶりに盃を交わし、大変意義深いつどいとなり、楽しい時間を過ごすことができ、盛況の内に無事終了することができました。



当初予定時刻の午前11時50分、参加者全員が、記念写真の撮影を速やかに終え、パーティを迎え、最初に、今は亡き故人となられた恩師諸先生、同窓生を偲んで、1分間の黙祷を捧げ、乾杯のうえ、宴が始まりました。

続いて、当日、お越しいただいた恩師諸先生から、先生のお人柄や日頃の行いの数々を、ユーモアたっぷりにご紹介いただき、われわれの知らない部分がいかに多いかに驚かされました。

懇親会は、当時の在籍組毎の10テーブルに、恩師諸先生を交えて、盃をかわしながら、なつかしい熱く燃えた学生当時の話などを思い浮かべながら話はずみ、楽しいひとときを過ごすことができ、あつと言ふの楽しい3時間でした。

最後に、参加者全員が、大きな輪になり、校歌を斉

唱しながら、会場を後にし、会場のマイクロパス等により、2次会会場の「ミューズ」に会場を移し、大いに盛り上がり、更に、親交を深めて散会しました。虎姫高校を昭和41年に卒業してから、約46年の月日が過ぎ、元気に会えたことに感謝し、今後も、同窓生仲間の絆を大切に、健康に留意しながら、喜寿往年後の第2の人生を楽しみたいと決意も新たに感じる同窓会でした。

最後に、母校が、益々、発展し、恩師諸先生、同窓生の皆様の融和が、さらに、深まることを祈念いたしまして、一文とさせていただきます。(速水敏行)

高20回生学年同窓会

私たち第20回卒業の久方ぶりの同窓会が本年5月30日、まさに五月晴れのさわやかな天候のもと開催されました。恩師の先生3名の参加を含めて総勢64名が北ビワコホテルグライエの会場に集結いたしました。

卒業以来初めて参加された方もありましたが、たちまち卒業後50数年のブランクを乗り越えて話に花が咲き旧交を温めることができました。片桐憲夫先生の乾杯の後、余興として世話人からは玄人はだしの「長持唄」やバイオリンの独奏の披露もあり、さらには賞品付きの全体ジャンケン大会で大いに盛り上がりしました。最後は校歌「日東第一」を全員で声賣らかに歌いあげ、2年後の再会を約束し3時間にわたる宴を大盛況のうちを終えることができました。



れたようで、まさに団塊の世代の老人パワー恐るべしを実感した次第です。

高31回生学年同窓会

令和5年10月8日、北ビワコホテルグライエにて第31回卒業生同窓会を開催しました。当初還暦の年に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大で3年延期し、約10年ぶりの再会に恩師4名をお迎えし82名が集いました。

今回は昨今の流れを受け、同窓会も少しIT技術を活用してみました。まず、LINEグループを立ち上げ、参加を呼びかけたところ100名以上が参加し、出欠確認や事前に情報共有することで同窓会の機運が高まりました。またQRコードからMicrosoft Formsにて出欠返信をお願いし早期返信につながりました。そして、会場に足を運べない方にもリモートで参加できるようZOOMとグループLINEのビデオ通話でオンライン接続し、会場とネット上で交流をはかりました。

虎高新聞部顧問の鈴木先生のご協力をいただきSSHの指定や国際パカロレアの認定、ホテル並みに改装されたトイレ、女子の制服が新しくなった、そうした最近の虎高を「イマドキの虎高」として画像にまとめ紹介いたしました。また、ご出席いただいた某先生からは我々の3年生の時の文化祭で生徒からは非一緒にピンクレディーを踊ってほしいと依頼されたのに断ったことを今となっては非常に後悔しているというエピソードを披露され、会場を爆笑の渦に巻きこみました。楽しい時間は瞬く間に過ぎ、校歌斉唱の後、次期代表幹事の中締めで次回の再会を誓いお開きとなりました。



同日別会場での某中学の同窓会に参加していた

数名からも含め約50人が2次会へ移動し、時間の許す限り楽しい時間を共有しました。

当日、みなさんからご協力いただいた募金は滋賀県の県立高校応援寄付を通じ、学校環境の充実に役立てていただく予定です。(幹事 原田浩邦)

高32回学年同窓会

令和六年一月二日(火)に北ビワコホテルグライエで、第三十二回生同窓会を、恩師の北川先生、光明先生、村居先生、川嶋先生ご参会のもと開催いたしました。本同窓会は毎回、オリンピックにあわせて四年ごとに実施しており、今回でちょうど十回目です。参加人数は総勢五十七名で、前回よりやや少なかったものの、還暦を迎えた私たちが再びできた喜びは大きなものでした。特にこの四年間は新型コロナウイルス感染等、私たちが今まで経験したことのない状況を経ての開催でもあり、感激もひとしおでした。

会は開会あいさつの後、北川先生による乾杯のご発声により始まりました。四十年継続して同窓会を開催できていることに感謝するとともに、お互いが久しぶりの対面に感動しながら親睦を深めていきました。途中、ご出席の先生方からお話をいただくとともに、残念ながらご出席いただけなかった恩師の方々のコメントを紹介し、みんなが懐かしい思いで聞き入っていました。約二時間の歓談後、参加者全員が肩を組みながら恒例の校歌斉唱をし、四年後の再会を誓い合いました。最後に本開催における残金は、半額を姉水会奨学財団に、半額を能登半島地震の義援金として寄付しましたことを、三十二回同窓生の皆様にはこの場をお借りして報告いたします。



令和5年度 姉水会決算(案)

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

[1] 一般会計	収入の部	項 目	金 額	備 考
		前年度繰越金	2,187,745	(定期：1,450,244円、普通：782,501円)
		入会金	776,000	高76回生 4,000円×194名
		雑収入	4,871	姉水会館古物売上、利息(定期24円・普通7円)
		合 計	2,968,616	
	支出の部	項 目	金 額	備 考
		通信費	16,296	郵送料
		旅費	77,920	東京姉水会
		謝金・謝礼	30,000	10年勤続表彰(3名分)
		会議費	30,000	理事会会場代
皆勤賞記念品代		57,574	76回卒業生皆勤賞	
「特別会計」へ繰入		582,000	高76回生入会金より(3,000円×194人)	
合 計	793,790			
次年度繰越金			2,174,826	
[2] 特別会計	収入の部	項 目	金 額	備 考
		前年度繰越金	9,414,999	
		百周年事業残金	157,965	虎姫高等学校百周年記念事業会計残高
		一般会計より繰入	582,000	高76回生入会金より(3,000円×194人)
		雑収入	93	利息(定期55円・普通38円)
		合 計	10,155,057	
	支出の部	項 目	金 額	備 考
		百周年事業実行委員会へ繰入	4,000,770	姉水会館取り壊し費用
		合 計	4,000,770	
次年度繰越金			6,154,287	

同窓会だより『日東第一だより』の
原稿募集 について

多くの学年で、旧交を温めあうべく同窓会を開催されていることと思います。その様子を本紙の『日東第一だより』にてご紹介ください。ご紹介いただける場合は、姉水会事務局まで原稿（できれば写真1～2枚も）をお寄せください。よろしくお願いいたします。

※毎年5月上旬が原稿締切になっています。

※姉水会事務局

TEL 0749-73-3055 (虎姫高校)

FAX 0749-73-2967 (虎姫高校)

e-mail : torahime-h.sisui@pref-shiga.ed.jp

姉水会奨学財団奨学金
令和5年度給付のご報告

奨学財団設立後2年目となる令和5年度の奨学金について、国際バカロレア奨学金13名（3年生10名、2年生3名）、修学奨学金5名、あわせて18名の虎高生にそれぞれ一人当たり10万円と20万円の奨学金が給付されました。

今年度は10名が、国際バカロレアの2期生として虎姫高校を卒業し、それぞれの進路先で学業に励んでいます。未来を担う“人財”として活躍してくれることを期待しています。

創立百周年記念事業の一環として設立した『公益財団法人姉水会奨学財団』は皆様のご寄附により奨学金事業を行っています。今年度は1,414,749円（累積で44,474,249円）のご寄附をいただいております。今後も継続的に奨学金を支給していくため、引き続き、当財団の募金にご協力をお願い致します。



三角点

(上位結果のみ掲載)

令和5年度 秋季大会結果

水泳

辻虎之介 200m個人メドレー 8位 近畿大会出場
羽瀬真広 100m自由形 3位 近畿大会出場

アーチェリー

女子 団体 第3位
北村菜々美 第8位

卓球

男子 団体 ベスト8 近畿大会出場
個人 ダブルス 中川・谷木組 ベスト16

ソフトテニス

女子 団体 ベスト8
個人 新道母子・山崎咲奈ペア ベスト16 近畿大会出場

囲碁・将棋

男子 団体 準優勝
個人 横山柊吾 4位 近畿大会出場
小川裕也 5位
近畿選手権
男子 個人 横山柊吾 3位入賞
近畿総合文化祭 囲碁部門 出場
横山柊吾 中川結斗 小川裕也 川瀬あんじ

新聞部

最優秀賞・知事賞 2024全国高等学校総合文化祭出場



令和6年度 春季大会結果

水泳

男子 羽瀬真広 100m自由形 5位
50m自由形 5位

滋賀県高等学校選手権水泳競技大会

男子 羽瀬真広 100m自由形 7位 近畿大会出場
辻虎之介 400m個人メドレー 8位 近畿大会出場

アーチェリー

男子 団体 4位
女子 団体 3位 近畿大会出場

卓球

男子 団体 ベスト8 近畿大会出場
個人 ダブルス 中川結斗・谷木聖威組 ベスト20 近畿大会出場

シングルス 中川結斗

ベスト16 近畿大会出場
谷木聖威 ベスト16 近畿大会出場

ベスト16 近畿大会出場
長谷川凜季 ベスト16 近畿大会出場

ソフトテニス

女子 団体 ベスト8 近畿大会出場
個人 羽坂心春・羽坂百花ペア ベスト16 近畿大会出場
新道母子・山崎咲奈ペア ベスト16 近畿大会出場

バレー

男子 ベスト8

囲碁将棋

文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会滋賀県予選

男子 団体 準優勝
個人 小川裕也 4位

速水啓徳 ベスト8
横山柊吾 ベスト8

女子 個人 川瀬あんじ ベスト8
全国高等学校総合文化祭囲碁部門滋賀県予選

男子 個人 中川結斗 準優勝
小川裕也 4位

横山柊吾 5位
速水啓徳 7位



進路状況

● 現役合格延人数

種 別		令和4年3月卒	令和5年3月卒	令和6年3月卒
卒業者数		190	197	194
大学	国公立大学	73	92	84
	私 立 大 学	694	625	525
	計	767	717	609
海外大学		0	0	4
短大	公 立 短 大	2	0	0
	私 立 短 大	0	2	1
専修学校等		15	7	10
就職	公 務 員 等	0	0	2

● 主な大学の合格状況

【国公立大学】合格延人数 ()内は過年度卒

大学名	令和4.3卒	令和5.3卒	令和6.3卒
北見工大	0 (0)	0 (0)	1 (1)
北海道大	1 (1)	1 (1)	0 (0)
筑波大	1 (0)	1 (0)	0 (0)
宇都宮大	0 (0)	1 (0)	0 (0)
千葉大	1 (0)	0 (0)	0 (0)
横浜国立大	0 (0)	0 (0)	1 (0)
富山大	4 (0)	2 (0)	1 (0)
金沢大	1 (0)	5 (0)	2 (0)
福井大	5 (0)	5 (0)	3 (1)
信州大	1 (0)	0 (0)	4 (0)
岐阜大	2 (0)	5 (1)	7 (0)
静岡大	5 (0)	2 (0)	2 (0)
名古屋大	1 (0)	0 (0)	1 (1)
名古屋工大	1 (0)	2 (0)	1 (0)
三重大	1 (1)	0 (0)	0 (0)
滋賀大	9 (1)	9 (0)	8 (1)
滋賀医大	1 (0)	5 (0)	1 (0)
京都大	1 (1)	0 (0)	0 (0)

【私立大学】合格延人数 ()内は過年度卒

大学名	令和4.3卒	令和5.3卒	令和6.3卒
立教大	1 (0)	5 (0)	0 (0)
武蔵野美術大	0 (0)	0 (0)	1 (0)
明治大	0 (0)	0 (0)	1 (0)
早稲田大	2 (0)	1 (0)	1 (0)
上智大	0 (0)	1 (0)	0 (0)
国際基督教大	0 (0)	1 (0)	0 (0)
南山大	0 (0)	3 (0)	0 (0)

大学名	令和4.3卒	令和5.3卒	令和6.3卒
京都教育大	0 (0)	2 (0)	0 (0)
京都工芸繊維大	1 (0)	0 (0)	0 (0)
大阪大	0 (0)	3 (1)	1 (0)
大阪教育大	2 (1)	1 (0)	1 (0)
神戸大	0 (0)	1 (1)	1 (0)
奈良教育大	0 (0)	1 (0)	1 (0)
島根大	2 (0)	0 (0)	0 (0)
岡山大	1 (1)	5 (0)	3 (0)
広島大	1 (1)	2 (0)	3 (0)
山口大	2 (0)	3 (0)	0 (0)
徳島大	0 (0)	1 (0)	0 (0)
高知大	0 (0)	0 (0)	1 (0)
九州大	0 (0)	0 (0)	1 (0)
長崎大	0 (0)	0 (0)	1 (0)
宮崎大	0 (0)	1 (0)	0 (0)
琉球大	1 (0)	0 (0)	0 (0)
国立大学計	52 (8)	59 (4)	45 (4)
石川県立大	0 (0)	0 (0)	1 (0)

大学名	令和4.3卒	令和5.3卒	令和6.3卒
福井県立大	3 (0)	3 (0)	0 (0)
敦賀市立看護大	4 (0)	4 (0)	2 (0)
名古屋市立大	0 (0)	0 (0)	2 (0)
滋賀県立大	12 (0)	13 (0)	17 (0)
京都府立大	1 (0)	0 (0)	2 (1)
京都市立芸大	0 (0)	1 (0)	0 (0)
大阪公立大	1 (0)	3 (0)	4 (0)
兵庫県立大	2 (1)	2 (0)	2 (0)
神戸市外大	0 (0)	1 (0)	0 (0)
公立大計	32 (3)	38 (1)	45 (2)
国公立大計	84 (11)	97 (5)	90 (6)

再掲 国公立医療系	令和4.3卒	令和5.3卒	令和6.3卒
医学科	0 (0)	1 (0)	0 (0)
薬学科	0 (0)	0 (0)	0 (0)
看護系	9 (0)	10 (0)	9 (0)
医療技術系	2 (0)	1 (0)	1 (0)

※ 紙面の都合上、全ての大学は掲載していません。

大学名	令和4.3卒	令和5.3卒	令和6.3卒
名城大	8 (2)	3 (0)	10 (0)
京都産大	54 (1)	15 (0)	22 (1)
京都女子大	17 (0)	9 (0)	9 (0)
同志社大	11 (5)	16 (3)	12 (4)
佛教大	44 (4)	29 (0)	20 (0)
立命館大	70 (3)	72 (5)	62 (3)
龍谷大	177 (2)	158 (3)	155 (3)

大学名	令和4.3卒	令和5.3卒	令和6.3卒
関西大	2 (1)	14 (0)	3 (0)
関西外国語大	0 (0)	6 (0)	6 (0)
近畿大	34 (6)	43 (0)	15 (0)
関西学院大	11 (1)	7 (0)	1 (0)
私立大計	727 (34)	640 (15)	540 (15)
私立大医学科	0 (0)	2 (2)	0 (0)

※ 紙面の都合上、全ての大学は掲載していません。

第76回生 (令和6年3月卒) 進学希望者数に対する合格率・進学率

進学希望者数	A	人数	194	合格率・進学率
合格者数	B	190	合格率	B/A 98%
進学者数	C	185	進学率	C/A 95%
国公立大合格数	D	84	国公立大合格率	D/A 43%

【海外大学】合格延人数 ()内は過年度卒

国・地域	大学名	令和6.3卒
カナダ	マギル大	2 (0)
カナダ	プリティッシュ・コロンビア大	1 (0)
オーストラリア	クイーンズランド大	1 (0)

十年勤続・吉田 晴洋 先生
・笹原 敏幸 先生
(通算)

今年度永年勤続表彰

母校に永年ご勤続いただき、後輩の教育にご尽力されている先生の労に対し、会長より感謝状と記念品が贈呈されます。

令和6年度 職員人事異動 (敬称略)

退職 教諭 矢田 志奈 (数学)
派遣講師 レモン・シヤノン (英語)

転出 教諭 北村 英仁 (地歴公民)
教諭 宮田 崇弘 (理科)
教諭 日置 康代 (英語)
臨時講師 川居 慧士 (国語)

主査 野瀬 拓也 (事務室)
転入 教諭 安達 俊明 (国語)
教諭 前田 健 (地歴公民)
教諭 吉川 典輝 (数学)
教諭 川嶋 遼 (理科)
教諭 田中 琉偉 (理科)
教諭 古市 裕貴 (英語)
臨時教諭 森田 恭司 (理科)
派遣講師 フェリペ・アルファロ (英語)
主査 澤 由香里 (事務室)

東北工業技術センター



姉水会奨学財団への募金のお願い

※創立百周年記念事業の一環として設立いたしました『公益財団法人姉水会奨学財団』への募金を、**同封の振込用紙にて**よろしく願いいたします。

※従来、会報「姉水」にあわせてお願いしていましたが『運営協力金（1口2,000円）』は、『公益財団法人姉水会奨学財団』への募金に移行させていただきます。

■募資金額

個人：『公益財団法人姉水会奨学財団』への募金は、**多くの方にご賛同いただくことを目標としております。金額の多寡にかかわらずご協力をお願い申し上げます。**

法人：1口の金額は特に定めておりません。

■税制上の優遇措置について

『公益財団法人姉水会奨学財団』へのご寄附は、**寄附金控除等の対象**となります。

《個人による寄附の場合》

個人が寄附をした場合、確定申告を行なうことで、①寄附金控除（所得控除）又は、②寄附金特別控除（税額控除）のいずれか有利な方を選ぶことができ、**所得税が減額されます。**（概ね②が有利ですが、各人の所得などによって①が有利になる場合があります）

例）5万円を寄附した場合（②税額控除方式）

所得税の減税額 = (50,000円 - 2,000円) × 40% = 19,200円

※実質約30,000円で50,000円の寄附効果があります。

《法人による寄附の場合》

法人による寄附の場合、特定公益増進法人に対する寄附に分類され、その他一般の寄附金とは別枠で**「損金の額」に算入することができます。**

※いずれの場合も、税務申告の際に**公益財団法人発行の領収書**が必要です。

■**税制上の優遇措置をご利用予定の場合**は、同封の振込用紙「通信欄」の『領収書必要』に必ず「○」印をお願いします。振込確認後、「通信欄の訂正届欄」（空白の場合は「ご依頼人欄」）記載の住所氏名宛に領収書を郵送いたします。「○」印がない場合は、受領証をもって領収書に代えさせていただきます。

■**他行から振込の場合**【同封の振込用紙はゆうちょ銀行専用です。ご注意ください】

ゆうちょ銀行、店名：〇九九《ゼー・ウー・ウー》、預金種別：当座

口座番号：0238673

口座名義：公益財団法人姉水会奨学財団《ザイ）シスイショウガクザイダン》

※他行から振込をしていただいた場合は下記連絡先まで、

卒業回（卒業年）、お名前、領収書の要・不要（要の場合は送付先住所）等をお知らせください。

《連絡先》 財団・募金に関するお問い合わせは 090-9831-7950（担当 松宮）

同窓会に関するお問い合わせは姉水会事務局にお願いします。

TEL：0749-73-3055（滋賀県立虎姫高等学校）

e-mail：torahime-h.sisui@pref-shiga.ed.jp